dog wood cat + cure

森のいぬねこ病院 News Letter（ニュースレター）

01
2014.3

仙台市青葉区芋沢字綱木坂 22-3
☎022-394-2520（FAX共通）
森のいぬねこ病院 検索

こんにちは！森のいぬねこ病院　院長の西原です。
みなさんにもっとクリニックでの様子や、取り組みなどを知っていただきたいと考え、この度「森のいぬねこ病院 News Letter」を毎月発行することにしました。
四季折々のコラムや、ちょっとためになる情報も掲載！
鼻歌まじりにお気軽に読んで頂けたらうれしいです。

2014年はペットの予防がとっても大切です。その３つの理由と対策は…

理由 1. 台湾で52年ぶりに狂犬病が発生！！

実は、台湾も日本と同じ狂犬病の発生のない国でした。しかし昨年、狂犬病が発生し、犬の感染も確認されているのですが、発生した原因はわかっていません。

理由 2. SFTSウイルス抗体を有する動物が宮城県でも確認！！

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイルス抗体を有する動物が県内でも確認されています。ウイルスを保有するマダニに咬まれることにより動物(犬含む)へ感染しますが、ノミダニ(マダニ含む)予防をすることで感染リスクを下げることができます。このウイルスは、人に感染すると重度の症状を引き起すことがあります。

理由 3. 室内犬の4頭に1頭が寄生虫に感染！！

ある調査では、室内犬の4頭に1頭が何かしらの内部寄生虫に感染しているというデータがあります。

ペットの内部寄生虫は、人に感染すると重度の症状を引き起すことがあります。

ペットだけでなく人間にも感染する病気が目の前に存在しているのです。しかし!!予防は可能です。しかもかなりお手軽に!!

対策1. 年1回の予防接種

年に1回の狂犬病予防接種を受けましょう。集合注射の他、動物病院でいつでも受けることができます。

対策2. 月1回の予防薬

月に1回のフィラリア予防薬、ノミダニ予防薬、内部寄生虫予防薬を投与しましょう。

今年から、インターセプター®というフィラリア予防と内部寄生虫予防が同時にできるお薬ができ、さらにお手軽に予防することが可能になりました。

さて、その各予防の価格ですが…
年間パック(12か月分)はなんと50%OFFなんです!!

予防薬の価格（※表示価格は全て税抜）

▶狂犬病予防接種：無料（※注１）

▶インターセプター®：従来のフィラリア予防薬から価格据え置き（※注２）

体重	１か月	年間パック（12か月）	
~4.5kg	400円	4,800円→50%OFF	2,400円
~11kg	800円	9,600円→50%OFF	4,800円
~22kg	1,200円	14,200円→50%OFF	7,200円
~50kg	1,600円	19,200円→50%OFF	9,600円

▶滴下タイプのノミダニ予防薬

体重	１か月	年間パック（12か月）	
~4.5kg	1,200円	14,400円→50%OFF	7,200円
~11kg	1,400円	16,800円→50%OFF	8,400円
~22kg	1,600円	19,200円→50%OFF	9,600円
~50kg	1,800円	21,600円→50%OFF	10,800円

▶飲み薬タイプのノミダニ予防薬

体重	１か月	年間パック（12か月）	
~4.5kg	1,400円	16,800円→50%OFF	8,400円
~9kg	1,600円	19,200円→50%OFF	9,600円
~18kg	1,800円	21,600円→50%OFF	10,800円
~27kg	2,000円	24,000円→50%OFF	12,000円
~36kg	2,200円	26,400円→50%OFF	13,200円

（※注１）診察料別途1000円(税抜) 仙台市の方で、済票交付手続きを代行される方は、仙台市へ支払う交付手数料550円が別途かかります。

（※注２）通年投与では事前の検査は不要ですが、それ以外の方は飲ませはじめにフィラリア検査が 必要です。

裏面につづく…

地域予防率100%をめざして―森のいぬねこ病院のSpirit(心)―

狂犬病予防接種料無料､予防薬年間パックで50%OFF なぜこのような低価格が可能なのでしょうか？他の動物病院さんが高すぎるわけでは決してありません。

これには、森のいぬねこ病院の強いこだわりがあるのです。

今回のニュースレター創刊をきっかけに、当医院の理念、そして心を、少しでもみなさまにお伝えできたらと思い、筆をとります。

“地域予防率100%は森のいぬねこ病院の悲願!!”

2011年3月11日東日本大震災…私は当時（まだ森のいぬねこ病院ができる前です）地域の先生と協力して、各避難所を回り、ペットおよび飼い主様の支援を行っていました。震災発生からまもなくは、やはりペットよりも人間が優先される状況が続いていました。

ある時、避難所生活を送られていた飼い主様からこんな質問を受けました。**「周りの方から“お宅の犬はノミダニ予防しているの?”と聞かれたのですが、そんな予防あるのですか?」**

その瞬間、とても強い衝撃を受けました。それと言うのも、動物病院にいらっしゃる方々の中では、ノミダニ予防の存在はかなり普通に認識されており、他医院にかかっていらっしゃる飼い主様もそうだと思っていたからです。

しかし、実際にはまだまだ普及しておらず、それがペットを飼っていらっしゃる方の避難所生活の苦しみの一つになっている…獣医師としてものすごく責任を感じました。

また、森のいぬねこ病院と同じ敷地内にある、日本動物支援協会の被災動物シェルターでは、震災当初から被災動物を受け入れ、これまでに400頭以上の動物を保護してまいりました。

そこでは、すべての動物の予防状況を確認した上で保護しています。（一部飼い主様不明のため予防の確認がとれなかった動物もいましたが…）

その予防状況ですが、なんと法律で定められている狂犬病予防接種ですら接種率が30%以下という低い接種率であり、混合ワクチンやノミダニ予防は言わずもがな、という状況だったのです。

これらの経験から、ペットに対する予防医療がまだまだ普及できていないという、とても厳しい現実を突き付けられました。

森のいぬねこ病院の理念の一つに**「人と動物が共存できる社会作りに貢献すること」**があります。その理念に従うならば、ペットの予防医療の普及は絶対に必要なものです。

当医院の予防医療の取り組みが、皆様のペットライフに少しでもお役に立てれば幸いです。

2014年３月某日
森のいぬねこ病院
院長　西 原　克 明

Dr.西原の 歳時記

春本番の４月。桜の便りが次々に聞こえてくる季節です。おかげさまで、森のいぬねこ病院は４月５日で開院１周年を迎えます。

思い起こせば１年前、当時は動物看護師の菊池さんと２人で開院準備をし、春を感じる間もなくオープンを迎えた気がします（笑）。

現在では、看護師さんも４人体制となり、菊池さんもそのリーダー“ふっちょ（婦長）さん”としてがんばっています。菊池さんはもとも併設している dogwood カフェの店長でしたので、カフェをご利用いただいたことのある飼い主様には、店長としてのイメージが強いかもしれませんが､病院でも「いぬねこ看護婦さん」としてしっかりやっておりますのでご心配なく（笑）

さて、この春はしっかりと桜をめでたいと思います。え？「花より団子でしょ？」いえいえ（笑）